

露地夏秋キュウリの防虫ネット 被覆栽培における品種適応性

福島県農業試験場 野菜部

平成14年度福島県農業試験場試験成績概要

1 部門名

野菜－キュウリ－品種－施設・資材

分類コード 03－01－35010000

2 担当者

藤田祐子

3 要旨

露地夏秋キュウリの防虫ネット被覆栽培は、アブラムシが媒介するウイルス感染を防ぎ、殺虫剤の散布回数を削減できる有効な技術である。しかし、防虫ネットの全期間被覆栽培では、流れ果の発生による減収が問題となっているため、当栽培法に適する品種の検討を行った。

- (1) 平成13年度は「つや太郎」「クライマー1号」「フロンティア」「パイロット」を供試した。流れ果は、「つや太郎」が無被覆と同等で少なかった。しかし、他の品種は、流れ果が多く減収した。
- (2) 平成14年度は「パイロット」「金星」「つや太郎」の3品種を供試した。被覆栽培の総収量は、「つや太郎」「パイロット」「金星」の順であったが、何れも無被覆の収量を下回った。

以上のことから、全期間被覆栽培に適する品種はなく、ミツバチ放飼等流れ果対策を行う必要がある。

4 その他の資料等

なし